

# 至徳

射水市立金山小学校  
学校だより

令和2年7月28日

No.13



今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休業期間があったため、子供たちにとって楽しい夏休みはもう少し後になります。先日、他市の先生方と話をする機会がありました。その際、学校になかなか来ることができない子供が増えたという話を聞きました。特に1年生に多いそうです。「入学したら、たくさんの新しい友達を作りたい」と思って、6月の学校再開時にはウキウキした気持ちで登校していたのに、マスクをしているため、顔がよく分からなく不安に思う子供たちが増えたからだそうです。本校では欠席者はほとんどなくみんな元気に登校してくれているので本当に嬉しいです。学校が子供たちにとって楽しく安心でき、行きたい場所であり続けることができるよう残りの1学期を有意義に過ごしていけるよう努めていきます。今後ともよろしくお願いします。

## ○ 初めての国際交流活動

7月16日(木)に、射水市の国際交流員クレア先生をお招きして、1、2年生が国際交流活動を行いました。

「Hello!」という元気な挨拶から授業が始まりました。そしてクレア先生から、元気なとき、眠いとき、暑いとき等に使う基本的な挨拶方法を教えてもらいました。また、「Simon says」のゲームもし、楽しみながら英語に触れることもできました。

子供たちは、真剣な表情で、「今、アメリカって聞こえたよ」「エイトって、8のことだね」など、自分の知っている言葉から、英語でのクレア先生のお話を理解しようがんばっていました。

教室に帰ってからも「Head shoulders knees～」と楽しく歌う姿が見られました。



## ○ 民生委員児童委員・主任児童委員との懇談会

7月21日(火)に民生委員児童委員の金山 肇さん、滝沢 卓さん、西田康子さん、主任児童委員の野 明江さんに参加していただき懇談会を行いました。

まず学校から、本年度の学校運営や1学期の各学年の子供たちの様子について説明した後、地域での子供たちの様子等について意見を交換しました。

子供たちの健やかな育成を図るため、いただいた意見を参考に、これからもよりよい教育に努めていきたいと思えます。



## ○ 新しい形での猿楽小学校との交流

以前お知らせしたとおり、7月11日に予定していた猿楽小学校からの来訪は中止になりました。このような状況下でなければ、新しい出会いや交流がありそこからいろんなことを学んでいたはずだと思うと、改めてこの交流の大切さや意義を深く感じています。

そのため、来訪は中止になりましたが、子供たちはどんなことができるかをいろいろと考え活動に取り組んでいます。直接見ていただくはずだった金山小学校のことを知らせたいと、色々な場所をタブレットでとり映像としてまとめて送ろうとしたり、つながる気持ちを表現し伝えたいと交流のシンボルである鳩をグラウンドに大きく描いたりしています。

また、学校として全校での交流会をリモートで行えないか準備を進めています。射水市では、今年中に一人1台のタブレットを使えるようになる予定です。完了した後は、繰り返し関わりをもつこともできそうです。その他にもつながりを深めるために、まだまだ方法を考えている途中です。今までにない交流、つながりを感じることでできる機会にしていきたいと願っています。



## ○ ICT を活用した学習が充実してきています

昨年から実施している ICT サポーターの高井先生と担任が一緒に行う授業がますます充実してきています。猿楽小学校との交流のためにも活用していますが、色々な学年で学習に取り入れ、学びを深めています。

1年生は、大事に育てているアサガオをタブレット PC で撮影し、印刷しました。印刷した写真は家に持ち帰りました。お家でその写真を見ながら会話が弾んでいたのではないのでしょうか。

また、5・6年生は体育のマット運動の授業で使っています。自分の演技を動画としてタブレットで撮影し、終わった後すぐに自分の演技を確認します。自分の姿を見ることで「足が曲がっているな」「もう少し手の位置を前にしよう」など改善方法がよく分かるようです。

タブレットを活用することで、活動が広がり、深まっています。これからも色々工夫しながら取り組んでいきたいと思えます。

